

# 市教委、小中学校における義務外負担の実態公開

本来市費で負担すべきなのにPTAや学校後援会のお金を投入している事例は昨年度あったか。あったとすれば、どんなことにいくら使ったか……13日、橋爪委員の大きな声が委員会室に響きました。

緊張感が漂う中で教育委員会側が明らかにしたのは、施設整備や図書費などにおいてそういうものがあった。市が負担すべきものかどうかわからないものと一体のものを含め、その額は約490万円ほどであるということでした。橋爪委員の、「これらは速やかに是正してくださいますね」という確認を求める質問に、「是正の措置をとるべきものは是正の措置をとる」と答弁がありました。義務外負担ゼロに向けて大きな一歩を踏み出す答弁です。

問題の背景には教育費の削減があります。教材消耗品費などが足りなくて困っている学校現場の実態があります。今回の質問が学校教育予算の充実につながってほしいですね。

ところで、この問題を審議していた文教経済委員会では信じがたいことが起きました。橋爪委員の求めに応じて、教育委員会側がすでに委員会で明らかにしたデータを資料として出しました。と答えているのに、委員会が多数決で出すべきでないとしたのです。賛成したのは橋爪委員のほか、市民クラブ、市政会議のメンバーだけでした。他の会派の委員が「時期尚早だ」「ハッキリしないものが含まれているデータが一人歩きしたらまずい」と言って反対したのには傍聴者などから批判の声があがりました。市民生活に関わる問題が出されたら、資料も大いに出してもらい、積極的に説明していく。これは市議会常任委員会の使命であり、あるべき姿です。

## 文教経済委員会での橋爪委員の発言から

住宅建築不況が依然として続いています。橋爪委員は、市が2年間の限定で取り組んでいる住宅建築等促進資金利子補給補助金制度の存続を訴えました。

同補助金は、住宅建築等促進資金貸付制度利用者のうち、前年の収入金額が600万円(また



写真は文教経済常任委員会で発言する橋爪委員(13日)

は所得金額426万円)以下で、かつ配偶者との収入金額の合計が1000万円(ま

### 住宅建築等促進資金利子補給補助制度、ぜひ存続を

たは所得金額の合計780万円)以下であることなどの条件に該当する人に対して、利子補給補助を行うものです。昨年度の同補助金の交付実績は136件、759万円となっています。

橋爪委員は、「住宅不況が依然として深刻な中で、市の住宅建築促進の制度はとても有意義で好評だ。特に利子補給補助金制度については若い人たちの中からも是非存続してほしいという声があがっている。地域の建築関係者の仕事確保、若い人たちの定住促進の両面で効果が期待できるので、来年度以降も存続していただきたい」と訴えました。

これに対して佐野産業観光部参事(産業振興課長)は、「私どもも好評であるとの認識を持っている。検討していきたい」とのべました。

### ボブスレーのそりの修理は36台

金谷山でのボブスレー事故を受けて、市はマニュアルの見直しや安全点検をしてきました。このなかで、ブレーキのきき具合が悪いことなどから、市内4つのボブスレー場にある170台のそりのうち、36台を修理したことが明らかになりました。橋爪委員の質問に金子観光振興課長が答えました。

## 日本共産党上越市議員団ニュース

64 2006年9月24日

連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)  
 樋口良子 544-6802 (中門前3)  
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)  
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)

シロバナサクラタデ (18日)

